

# 山火事予防について

## 警防課

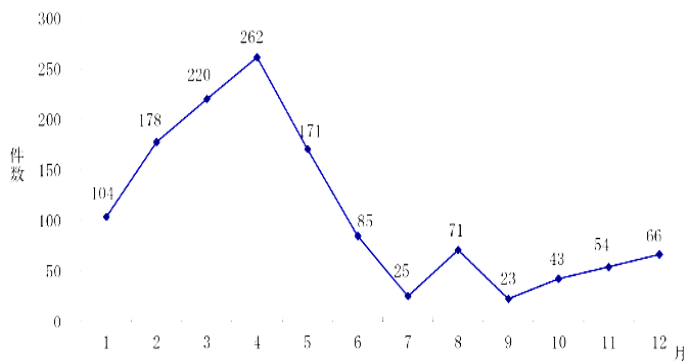
### 1 山火事の発生状況

例年、春先には山火事が多く発生しています。山火事の約7割が冬から春（1月～5月）にかけて集中して発生しています。

この時期は空気が乾燥し、強風が吹く気象条件に加え、山では枯葉や枯草が多くなっていることや、山菜採りなどで増える入山者のたき火等により、山火事発生危険性の高い時期となります。

特に、空気が乾燥している日や風が強い日にはたき火や野焼きをしないなど、火の取扱いには十分な注意が必要です。

山火事は一旦発生するとその消火は容易ではなく、一瞬にして森林を焼失するため、予防対策が重要となります。

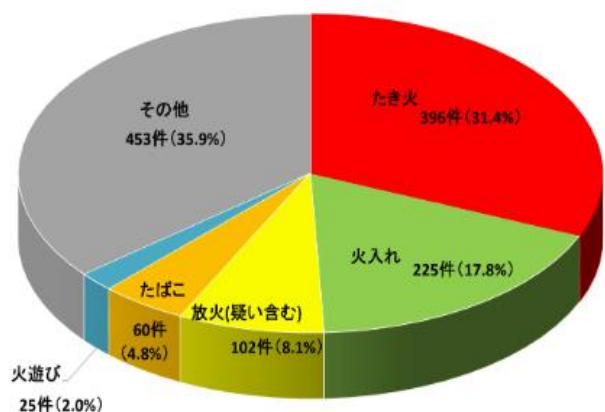


月別林野火災発生件数（平成29年～令和3年の平均）

### 2 山火事防止の取り組み

一人ひとりが森林の大切さを認識し、防火意識を高めることが最も大切です。山火事の原因の多くが、人のちょっとした火の取扱いの不注意で発生していることから、下記について注意願います。

- (1) 枯草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと
- (2) たき火等火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること
- (3) 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと
- (4) 火入れを行う際、許可を必ず受けること
- (5) たばこは、指定された場所で喫煙し、吸いながらは必ず消すとともに、投げ捨てないこと
- (6) 火遊びはしないこと



原因別出火件数（平成28年～令和2年の平均）